

# 歴史愛好会 9月 伊勢湾台風の足跡をたずねて・・・2025. 9. 26

歴史愛好会 代表 鏡味 保男 + 総務委員会 広報

66年前の9月26日 伊勢湾台風による甚大な被害が起こりました

伊勢湾台風は、1959年9月26日に潮岬に上陸し、紀伊半島から東海地方を中心にほぼ全国にわたって甚大な被害をもたらした台風です。伊勢湾沿岸の愛知県と三重県での被害が特に甚大であったことからこの名称が付けられました。死者・行方不明者の数は5,000人を超え、明治以降の日本における台風の災害史上最悪の惨事となったそうです。《ウィキペディア参照》

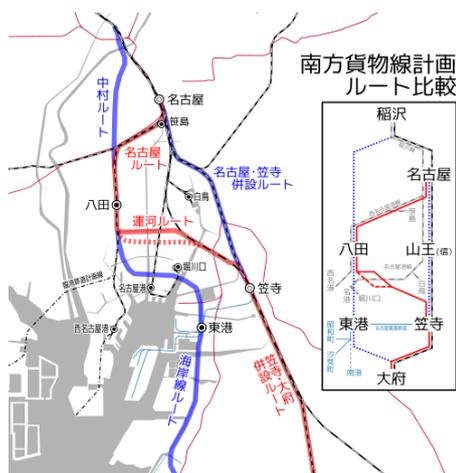
歴史愛好会は毎月第4金曜日に代表の鏡味さんのリードで、南区を中心に、史跡などを巡っています。9月は定例の日がちが26日となり「伊勢湾台風の足跡をたずねる」という企画でした。タイムリーな企画になりました。

## ☆タイムテーブル☆

9時45分 南区役所に集合 → 笠寺駅跨線橋を歩いて渡る → 貨物専用の名古屋臨海鉄道高架下を通る → 「靴塚」(浜田南公園) → 大江川緑地・緑道 → 大同大学大同高等学校「愛と力の筏」 → 市バス新瑞橋右回り循環(新瑞13)に乗車

笠寺駅には多数の線路が敷かれています 切り替え や 貨物と機関車を連結する 「操車場」「貨物ヤード」と呼ばれる施設があり 時間を忘れて見とれてしまいました

名古屋生まれ名古屋育ちの鏡味さんは 幼いころこの風景をよく見ていたそうです



## 靴塚

浜田南公園内にある「伊勢湾台風殉難者慰霊之碑」の裏面には、当時の状況のほか、水害にあわれた人達の遺品の雨靴が道路わきに積まれ“くつ塚”と呼ばれるようになったこと、殉難者の遺骨を安置してご冥福をお祈りすることなどが記載されています



当時の浸水した水位が記録されたポールがありました

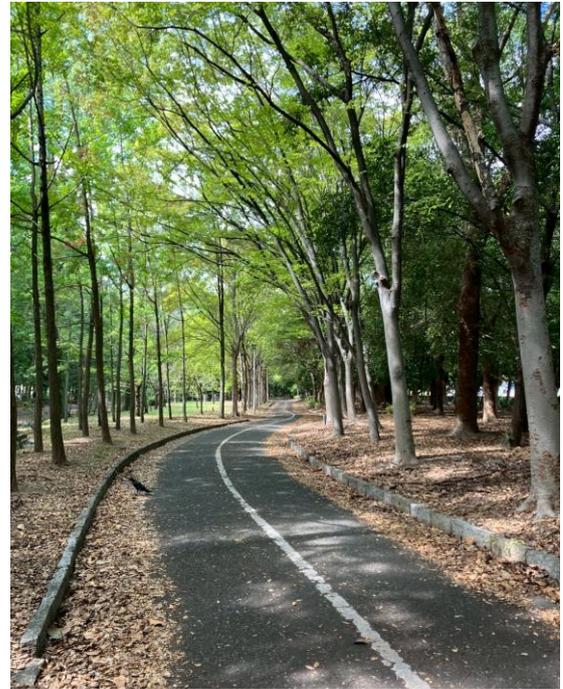
「家の2階から出入りした」と言う話は聞いたことがありますが 実際に見てみると1階は完全に浸水していた事が分かります 『百聞は一見に如かず』という言葉がありますが まさに その通りでした

鏡味さんがお線香の準備をして下さり慰霊碑に手向けました 一般の方が供養に来ている姿を見かけました

## 大江川緑地

大江川は かつて水がきれいであったころ地域の人々の遊び場だったそうです 運河状で船の航行や船溜場として重要な役割をはたしていたそうです しかしその後、工場や家庭の排水が流れ込み汚れた川に変わってしまったそうです。昭和55年(1980年)に約1.8キロメートルが埋立てられました 川は暗渠となったそうです

おまけの説明・・・大江川の上流は中江川用水 中江川用水も現在は暗渠化されています



木陰のベンチで小休止しました

こんな素敵な道ならば どこまでも 歩いて

いけそうな気がします 🍵

## 愛と力の筏

大同高等学校本館は二千余名の人々で泥海の避難場所となったそうです 同校生徒は多くの人と一緒に手作り筏で人命救助、物資の輸送、清掃、復興などに活躍したそうです この像は純真な生徒の愛と力の姿を永く伝えるとともに後進の励みとするシンボルです この像には当時の浸水位が刻まれています

当時笠寺小学校の

6年生だった鏡味

さん・・・運動会の

準備をして・・・

やけに万国旗が

はためくなぁ・・・と

思って下校したそう



です 翌日は南区のかなりの地域が浸水被害にあった事を知ったそうです 万国旗の激しい揺れは 災害台風の前兆だったんだ！ と 忘れられない思い出となったそうです